第6講　院政と平氏政権
PART4 平氏政権の動揺と平安末期の文化

Chapter 1　平氏政権の動揺

目標
鹿ヶ谷の陰謀で平清盛が後白河法皇を見逃したのはなぜだろう？
平氏の周囲が敵だらけになったのはなぜだろう？

1　平氏の強大化

①平氏の強大化

「**此一門にあらざらむ人は皆人非人なるべし**（＝平氏でなければ人ではない）」（平時忠）
という『平家物語』の言葉に象徴されるように，平氏の独裁傾向が強まった。

②反平氏勢力の増大

後白河上皇〔法皇〕やほかの院近臣との対立は激しくなり，
伝統勢力である皇族・摂関家・大寺社ばかりか地方武士の反感も強くなった。

平清盛像

2 平氏政権の動揺と全盛

①［1　　　　　　　　　　　］〔鹿ケ谷事件〕（1177年）

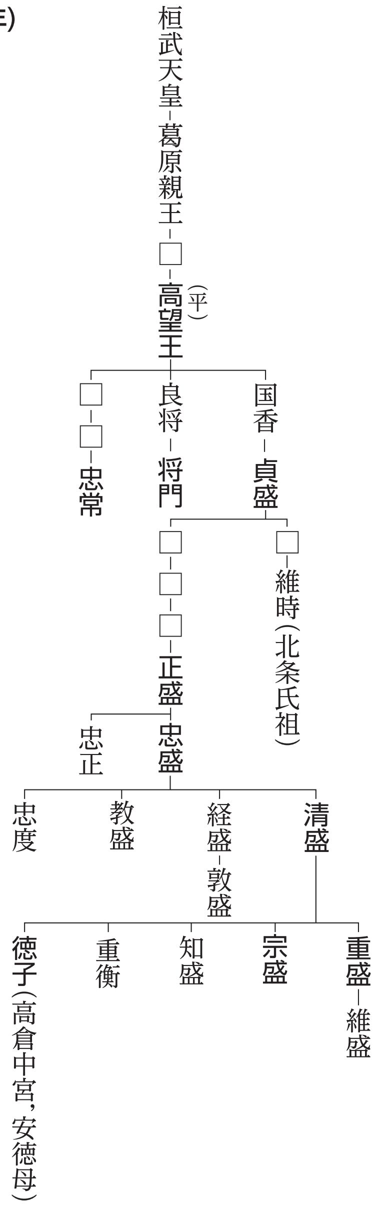
院近臣の**俊寛**・西光・**藤原成親**らの平氏打倒計画が，
源行綱〔多田行綱〕の密告により判明。
厳罰が下されたがあえて
後白河法皇の責任は問われなかった。

②後白河法皇を鳥羽殿に幽閉（1179年）

この年没した平重盛の遺領を
法皇が没収したことに父の清盛が激怒。
武力を背景に国家機構をほぼ手中に収めた。
※**院政は停止**となり，関白以下
　多数の貴族も処罰し官職を奪う。

③［2　　　　　　　　］の即位（1180年）

政界の主導権を握った平清盛は，
孫の安徳天皇を即位させ，
外戚の地位を手に入れた。
※多数の荘園・知行国を持つ
　平氏の軍事独裁政権
　（＝初の武家政権である「六波羅政権」）
　が確立したが，**かえって院・貴族・寺社・**
　地方武士団など反対勢力の結集を促し，
　没落を早める結果となった。



平氏略系図

まとめ
平清盛の権力は，後白河法皇の院近臣たることで確立されていたので，
鹿ケ谷の陰謀では法皇の責任は問わなかった。
院政を停止し孫を即位させるなど急速な権力集中は平氏の敵を増やした。

Chapter 2　院政期の文化

目標
浄土信仰が地方に普及したのはなぜだろう？
平安時代末期に和文体の歴史物語が書かれたのはなぜだろう？

1　仏教の展開

①中央における神仏習合の進展

在俗出家した３上皇〔法皇〕の主導で神仏習合がさらに進展し，**本地垂迹説**が定着した。

※国ごとに神社の序列化が進み，一宮を中心に神事・仏事が執り行われた。

②地方における仏教の展開

寺院に所属しない**聖・上人**による浄土教布教と，

それを受け入れる地方武士の台頭により，**中央の浄土教文化が地方に波及**した。

A　〔1　　　　　　　　　　　〕（陸奥国）→岩手県**平泉**（奥州藤原氏の**藤原清衡**）

B　**白水阿弥陀堂**（陸奥国）→福島県

C　三仏寺投入堂（伯耆国）→鳥取県

D　**富貴寺大堂**　（豊後国）　→大分県豊後高田にある九州最古の木造建築物

E　臼杵磨崖仏　（豊後国）

富貴寺大堂

鳥獣戯画

2　絵画・文芸・芸能

院政期の文化〔平安末期の文化〕は，武士・庶民とその背後にある地方文化を導入した，

日本独自の貴族文化。民間芸能が流行するなど，文化の庶民性が高まる。

①絵画

A　〔2　　　　　　　　〕→絵と詞書を織り交ぜて時間の進行を表現

あ〔3 〕

い〔4 〕→応天門の変の大納言伴善男を描く

う **信貴山縁起絵巻**→奈良県の朝護孫子寺が所蔵

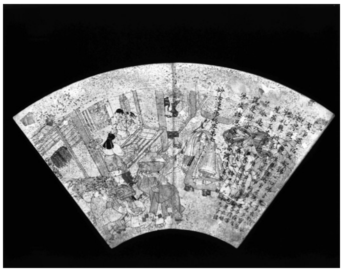
え **鳥獣（人物）戯画**（鳥羽僧正）→京都府の高山寺が所蔵

お 年中行事絵巻→後白河上皇の命で描かれる

B **装飾経**

あ **扇面古写経**→下絵に自然や京の民衆生活を描く

い **平家納経**→平清盛が**厳島神社**（安芸国）に奉納



扇面古写経

②文芸

A 説話集

〔5 〕

※日本・中国・インド3国にわたる1000余りの仏教説話・世俗説話を集める。

B 軍記物語

あ **将門記**（平将門の乱を描く）

い **陸奥話記**（前九年合戦を描く）

C 歴史物語→仮名文字を使用した和文体

古代から中世への転換期に立ち，貴族たちは過去の歴史を振り返ろうとしていた。

あ **栄華〔栄花〕物語**（国風文化期～院政期）

※藤原氏全盛期を賞賛的に，編年体で描く。

い〔6 〕

※藤原氏全盛期を客観的に，紀伝体で描く。

「四鏡」（大鏡・今鏡・水鏡・増鏡）の初め。

③芸能

A **今様**（民間の流行歌謡）→**後白河上皇**が『〔7 〕』を編纂

B 催馬楽（古代の歌謡から発達）

C 朗詠（和漢の名句を吟じる）

D 〔8 〕（農村の労働歌舞）→貴族にも流行

E **猿楽**〔散楽〕（滑稽を主とした民間娯楽）→貴族にも流行

まとめ

寺院に所属しない聖・上人の布教とそれを受け入れる地方武士の台頭により，中央の浄土教文化は地方に普及した。

中世への転換点で，貴族たちは歴史を振り返ろうと歴史物語を著した。

第 6 講　PART 4　確認問題

1　鹿ケ谷の陰謀〔鹿ヶ谷事件〕で西光らとともに平氏打倒をはかった院近臣はだれか。

①　源行綱　　②　俊寛
③　定朝　　④　信西

2　鹿ケ谷の陰謀〔鹿ヶ谷事件〕で,
1の人物らとともに平氏打倒をはかった院近臣はだれか。

①　藤原信頼　　②　藤原忠通
③　藤原成親　　④　藤原通憲

3　1179 年に鳥羽殿に幽閉されたのはだれか。

①　白河法皇　　②　後白河法皇
③　鳥羽法皇　　④　崇徳上皇

4　1180 年に即位した天皇はだれか。

①　安徳天皇　　②　鳥羽天皇
③　二条天皇　　④　高倉天皇

5　現在の大分県にある九州最古の木造建築物はどれか。

①　三仏寺投入堂　　②　白水阿弥陀堂
③　中尊寺金色堂　　④　富貴寺大堂

6 奈良県の朝護孫子寺が所蔵しているのはどれか。

① 鳥獣（人物）戯画　② 伴大納言絵巻
③ 信貴山縁起絵巻　④ 源氏物語絵巻

7 院政期に書かれた説話集はどれか。

① 今昔物語集　② 栄華〔栄花〕物語
③ 大鏡　④ 陸奥話記

8 後白河上皇が，民間の流行歌謡を集めて編纂した歌集はどれか。

① 大鏡　② 栄華〔栄花〕物語
③ 梁塵秘抄　④ 禁秘抄

第6講　PART4　確認問題 解答

1 解答：②　**鹿ケ谷の陰謀〔鹿ヶ谷事件〕**では，院近臣の**俊寛**・西光・**藤原成親**らが平氏打倒をはかった。

2 解答：③　**藤原成親**らの平氏打倒計画は，源行綱〔多田行綱〕の密告により判明し，厳罰が下された。

3 解答：②　平重盛死後，その遺領を**後白河法皇**が没収したため，平清盛は法皇を幽閉した。

4 解答：①　政界の主導権を握った平清盛は，孫の**安徳天皇**を即位させ，外戚の地位を手に入れた。

5 解答：④　①の三仏寺投入堂は鳥取県，②の白水阿弥陀堂は福島県，③の**中尊寺金色堂**は岩手県に建てられた。

6 解答：③　①の**鳥獣（人物）戯画**は鳥羽僧正の作品で，京都府の高山寺が所蔵している。

7 解答：①　②の**栄華〔栄花〕物語**と③の**大鏡**は歴史書，④の陸奥話記は軍記物語。

8 解答：③　民間の流行歌謡のことを**今様**という。